

# 小学校統合問題検討特別委員会 議会報告

(令和4年12月5日)

「小学校統合問題 検討特別委員会」報告を致します。

**第13回** (令和4年11月11日)。

板柳町立小学校 統合整備審議会から提出された**答申書**について説明を求め、その内容を教育長および学務課長から受け、委員からは、いろいろ質問等が出されました。その中で、即答できず、持ち帰って確認し後日、回答するといふものが**2点**ありました。

**一つは**、審議会の今後について。

審議会はこの問題を、1年間(12回)の会議を重ね審議する予定で、その任期・予算等が計上されています。

その予定を繰り上げ、答申書が提出されました。任期が残っている審議会の、今後の役割については回答が保留となりました。

## 二つ目は、

総合教育会議を経て、町長へ答申書が提出されました。今までは、教育委員会が主導で進めてきたものですが、今後は町長が主導で進めて行くのか。それとも、今まで通り教育委員会が主導で進めて行くのか。この回答も保留となりました。

会議では、改めて議会と連携し、協力し合って進めて行く事を提案しましたが、無回答でした。

**第14回**（令和4年11月21日）。

先般、保留となっていた2点について回答を頂きました。

審議会の今後については、任期が残っていますが、その役割が終了した事で、そのまま自然終了とするという事でした。

今後の計画の主導体制は、一般的作業等は学務課が行いますが、予算等もありますので、町長と共に進めて行くとの事でした。

この事を踏まえると今後は、小学校建設の予算を単体で考えるのでは無く、町全体の整備計画も考慮した、予算計画が必要だと感じます。

耐震不足が指摘されている役場庁舎・板柳高校跡地計画・下水道整備完成に伴う消防団屯所整備は、いずれ必ず行うもの

です。

議会としても、それらを真摯に受け止め、将来の町構想を含め考えて行きます。

以上で報告を終わります。

委員長 今 浩一